

テーマ別パスファインダー



グローバルヒストリー（改訂版）



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2016年7月1日 改訂日：2020年8月14日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングcommons るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ グローバルヒストリーとは？

これまで、異なる国家・地域の歴史を合わせたものが「世界史」と考えられてきました。つまり、世界は異なる文明が合わさってできているということを前提にしており、自と他を区別しながら世界史は構築されてきました。しかし今日のグローバル化の発展に伴い、様々な地域の一体化や共通性を重視し、私たちがそれぞれの属する国家の一員であると同時に「地球市民」であるという意識をもち、地球社会の歴史、すなわち「グローバルヒストリー」を構築すべきという考えが、歴史学界において主張されています。では歴史学者たちはどのようにして「グローバルヒストリー」を構築しようとしているのでしょうか。また、従来の世界史の何が問題であったのでしょうか。

関係分野：歴史学、経済学、政治学、社会学、人類学、国際関係学など

II. 従来の世界史の問題点について学ぶ

＜ 秋田茂ほか(編著) (2016年) 『「世界史」の世界史』 ミネルヴァ書房

従来の歴史学では、ヨーロッパ中心主義的な見方、具体的にはヨーロッパが先進的に世界を発展させ、非ヨーロッパ圏はそれに追従してきた、という見方が一般的でした。また、国民国家史の発展によって、自国を中心として世界史を理解する傾向がありました。しかし、世界の「中心」と「周縁」という構造に基づいて世界史を理解するのではなく、世界一体の歴史を構築していくべきだと、この本で主張されています。第I部ではヨーロッパ以外の、様々な地域の多様な世界像が紹介されています。第II部では、これまで人類がどのような「世界史」を築いてきたのか、すなわち歴史学の歴史についてまとめられており、現在の歴史学におけるグローバルヒストリーの位置づけが見えてきます。【外 3F 開架 | 201/324】

III. グローバルヒストリー研究の動向について知る

＜ 水島司 (2010年) 『グローバルヒストリー入門』 山川出版

グローバルヒストリーの特徴や意義について説明するとともに、移民や交易ネットワーク、環境問題、世界システム論などといった、様々な観点からのグローバルヒストリー研究の取り組みを紹介しています。【外国 2F ブラウジング | 209/402/127】

＜ 秋田茂、桃木至朗(編) (2008年) 『歴史学のフロンティア：地域から問い直す国民国家史観』 大阪大学出版会

様々な地域を専門とする阪大の歴史学研究者による、グローバルヒストリーの観点から試みた研究の成果といえる一冊です。従来の歴史研究でよくみられた国民国家史という枠組みを相対化すべく、地域社会に焦点を当てています。研究者がそれぞれの専門地域研究を紹介しながら、様々な地域がいかにしてグローバルなつながりを構築してきたのかを考察しています。【外国 2F 教員著作 | 201/310】

- ＜ 秋田茂「グローバルヒストリーの挑戦と西洋史研究」(『パブリックヒストリー』第6号、2009年2月、pp.34-42. ISSN: 1348852X)

世界各地、および日本での最新のグローバルヒストリー研究の動向について紹介されています。また、大阪大学でもグローバルヒストリー研究に積極的に取り組んでいることが紹介されています。【総合 自動書庫】

IV. 様々な観点からみたグローバルヒストリー

- ＜ 秋田茂、桃木至朗(編著)(2016年)『グローバルヒストリーと戦争』大阪大学出版会
「戦争」というテーマに着目して、グローバルな問題を考察している一冊です。

【総合 A 棟 3/4F 学習用図書 | 209/AKI】

- ＜ 西田慎、梅崎透(編著)(2015年)『グローバル・ヒストリーとしての「1968年」：世界が揺れた転換点』ミネルヴァ書房

プラハの春、反ベトナム戦争運動、学生運動など、1968年は世界各地で様々な社会運動がおこった年でした。この「1968年」におこったグローバルな流れを深く考察している一冊です。【外国 3F 開架 | 209/509】

- ＜ 小澤卓也(2010年)『コーヒーのグローバル・ヒストリー：赤いダイヤモンドか、黒い悪魔か』ミネルヴァ書房

コーヒーの歴史を通して、グローバル化の歴史をたどっています。【外国 3F 開架 | 617/68】

- ＜ 川北稔(1996年)『砂糖の世界史』岩波書店

世界的に最も流通してきた商品のひとつである砂糖に注目しながら、グローバル化の歴史をたどっています。【総合 A 棟 3/4 階学習用図書 588.1/KAW】

- ＜ 永原陽子(2011年)『生まれる歴史、創られる歴史：アジア・アフリカ史研究の最前線から』刀水書房

歴史は文字のみが語りうるものではありません。有象無象の人びとの足跡が歴史となり、今日の世界を創りあげてきたのです。欧米列強からではない、アジア・アフリカからの語りに耳を澄ませてみてください。

【外国 3F 開架 | 220.9/50】

- ＜ ウォーラーステイン・エマニュエル、川北稔訳(1981年)『近代世界システム——農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立』一巻・二巻 岩波書店

ウォーラーステインは「近代世界システム論」で有名な社会学者・歴史学者です。簡単に言うと、「近代世界システム論」とは、近代の世界経済は中核、半周辺、周辺の国々による世界的な分業体制で成り立っているという考え方です。(実際はもっと複雑な理論です。)本書は社会科学分野の古典であり、特にグローバルヒストリーに興味のある皆さんにぜひ読んでほしいです。

【外国図書館 209.5||38||1】【外国図書館 209.5||38||2】

✧ 図書利用のためのヒント

[図書/論文の検索]

論文やパスファインダーに掲載されている図書等を検索するには

【図書・ジャーナル】

- ・外国学図書館各階にある検索端末を利用するか、お持ちのデバイスで検索してください。
- ・その際は、書名、出版社、著者名、ISBN、ISSN等をOPAC検索に打ち込んでください。

【電子ジャーナル】

- ・電子ジャーナルの種別によって学内・学外からのアクセスの可否が異なります。
- ・多くの場合は「附属図書館Webサイト」→「電子ジャーナル」で検索できます。見つからない場合はメインカウンター/LSデスクまでお問い合わせください。

[パスファインダーの凡例]

◀ 図書名はすべて以下の順に表記されています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。) 著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と請求記号を記しました。

総合→総合図書館

生命→生命科学図書館

理工→理工学図書館

外国→外国学図書館

電子→電子ジャーナル

Web→Web ページ

◀ 外国学図書館を中心に紹介していますが、貸し出しされている場合でも、他館から取り寄せできます(要2日程度)。予約や取り寄せ等はOPACから行うか、メインカウンター/LSデスクまでご相談ください。

◀ 検索や購入のために

ISBN : 各図書固有の識別番号。検索や購入に。

ISSN : 各雑誌固有の識別番号。検索に。

を記してある場合もあります。